



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 上村工業株式会社  
 コード番号 4966 URL <http://www.uvemura.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 上村寛也

(氏名) 片山恵嗣

TEL 06-6202-8518

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	11,399	8.8	1,830	32.9	1,867	50.3	1,301	22.3
29年3月期第1四半期	10,474	△15.8	1,378	△7.1	1,242	△17.3	1,064	21.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,344百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △491百万円 (△138.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	144.63	—
29年3月期第1四半期	116.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	68,315	53,720	78.0	5,919.76
29年3月期	69,703	53,636	76.4	5,912.84

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 53,291百万円 29年3月期 53,228百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	140.00	140.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	120.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,520	0.2	3,100	3.3	3,180	13.3	2,170	△8.2	239.75
通期	44,660	6.1	6,920	22.0	7,090	23.9	4,290	△19.0	473.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	9,878,040 株	29年3月期	9,878,040 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	875,785 株	29年3月期	875,785 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	9,002,255 株	29年3月期1Q	9,103,846 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移しましたが、海外における地政学的リスクの高まりや中国など新興国経済の減速に対する懸念などにより、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要市場であるエレクトロニクス市場におきましては、スマートフォン、タブレット端末市場は緩やかに成長しましたが、パソコン市場は需要の低迷が継続しました。一方、IoTや車載関連、データセンターなどの成長分野においては、各企業間で新製品の開発や提案が活発に行われております。

このような状況の下、当社グループは、収益力の更なる向上を目指して、徹底したコスト削減、高付加価値製品の開発と提案並びに拡販活動に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は113億99百万円（前年同四半期比8.8%増）、営業利益は18億30百万円（同32.9%増）、経常利益は18億67百万円（同50.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億1百万円（同22.3%増）となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。なお、前年同四半期比は、参考として記載しております。

## ① 表面処理用資材事業

主力のプリント基板用及びパッケージ基板用めっき薬品の売上高は、スマートフォンやカーエレクトロニクス製品に搭載される電子部品の需要が拡大したことにより増加しました。また、自動車のパワーデバイスや潤滑性が求められる車載製品向けのめっき薬品の販売も引き続き堅調に推移し、前年同四半期を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は85億75百万円（前年同四半期比14.7%増）、セグメント利益は17億5百万円（同33.6%増）となりました。

## ② 表面処理用機械事業

景気の先行き不透明感を受けて、国内外の電子部品メーカーや自動車部品メーカーの設備投資に対する動きが慎重となったことから、機械の受注が減少し、前年同四半期に比べて売上高は減少しました。利益面では、先端技術分野として前連結会計年度まで取り組んだ、半導体ウェハ用めっき機械の製作に係る追加コストの影響がなくなったことから、セグメント利益は増加し、黒字に転換しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は15億11百万円（前年同四半期比10.9%減）、セグメント利益は75百万円（前年同四半期はセグメント損失0百万円）となりました。

## ③ めっき加工事業

タイやインドネシアの自動車産業が低迷している影響により、自動車の外装部品へのめっき加工の受注が減少したことから、前年同四半期に比べて売上高は減少し、セグメント損失を計上しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11億72百万円（前年同四半期比8.3%減）、セグメント損失は54百万円（前年同四半期はセグメント利益45百万円）となりました。

## ④ 不動産賃貸事業

オフィスビルの入居率が改善したことや、経費の削減にも努めたことから、前年同四半期と比べて売上高、セグメント利益はそれぞれ増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億83百万円（前年同四半期比6.1%増）、セグメント利益は1億2百万円（同11.9%増）となりました。

なお、上記のセグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億88百万円減少し、683億15百万円となりました。主な増加は、建設仮勘定の増加9億35百万円、仕掛品の増加1億19百万円であり、主な減少は、現金及び預金の減少7億4百万円、繰延税金資産(流動)の減少3億11百万円、商品及び製品の減少2億44百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ14億72百万円減少し、145億94百万円となりました。主な増加は、電子記録債務の増加4億3百万円であり、主な減少は、支払手形及び買掛金の減少3億44百万円、未払法人税等の減少3億41百万円、役員賞与引当金の減少1億2百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ83百万円増加し、537億20百万円となりました。主な増加は、利益剰余金の増加41百万円、非支配株主持分の増加21百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の76.4%から1.6%増加し78.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しております。従いまして平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,254,565	30,550,300
受取手形及び売掛金	11,276,010	11,144,606
有価証券	38,960	37,563
商品及び製品	2,003,559	1,758,796
仕掛品	726,098	845,872
原材料及び貯蔵品	1,367,844	1,407,749
繰延税金資産	976,613	665,061
その他	1,792,623	922,667
貸倒引当金	△56,210	△44,625
流動資産合計	49,380,066	47,287,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,153,872	20,193,112
減価償却累計額	△11,152,340	△11,328,801
建物及び構築物(純額)	9,001,532	8,864,310
機械装置及び運搬具	9,253,396	9,319,904
減価償却累計額	△7,000,051	△7,155,850
機械装置及び運搬具(純額)	2,253,345	2,164,053
土地	4,034,830	4,055,007
リース資産	220,420	235,193
減価償却累計額	△114,030	△125,397
リース資産(純額)	106,389	109,795
建設仮勘定	996,634	1,931,999
その他	4,463,226	4,527,065
減価償却累計額	△3,419,923	△3,504,830
その他(純額)	1,043,302	1,022,235
有形固定資産合計	17,436,034	18,147,402
無形固定資産	360,424	334,123
投資その他の資産		
投資有価証券	1,850,579	1,864,977
退職給付に係る資産	76,469	73,238
繰延税金資産	138,608	146,954
その他	532,930	531,133
貸倒引当金	△71,943	△70,705
投資その他の資産合計	2,526,645	2,545,598
固定資産合計	20,323,104	21,027,124
資産合計	69,703,170	68,315,117

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,994,497	1,649,540
電子記録債務	2,581,602	2,984,914
短期借入金	820,000	861,896
1年内返済予定の長期借入金	235,167	197,207
リース債務	51,814	51,090
未払法人税等	1,904,553	1,563,317
賞与引当金	151,154	78,305
役員賞与引当金	136,250	34,062
その他	3,667,002	2,643,862
流動負債合計	11,542,042	10,064,197
固定負債		
長期借入金	220,174	167,844
長期預り保証金	574,659	588,783
リース債務	86,265	87,258
繰延税金負債	2,634,092	2,642,721
役員退職慰労引当金	179,695	179,950
退職給付に係る負債	622,605	659,718
その他	207,121	204,150
固定負債合計	4,524,613	4,530,426
負債合計	16,066,656	14,594,624
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,336,936	1,336,936
資本剰余金	1,321,570	1,321,570
利益剰余金	50,003,674	50,045,342
自己株式	△3,324,935	△3,324,935
株主資本合計	49,337,246	49,378,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	824,565	834,182
為替換算調整勘定	3,091,036	3,101,025
退職給付に係る調整累計額	△23,958	△22,947
その他の包括利益累計額合計	3,891,642	3,912,260
非支配株主持分	407,625	429,318
純資産合計	53,636,514	53,720,493
負債純資産合計	69,703,170	68,315,117

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	10,474,494	11,399,686
売上原価	6,695,363	7,119,885
売上総利益	3,779,131	4,279,800
販売費及び一般管理費	2,401,104	2,448,962
営業利益	1,378,026	1,830,837
営業外収益		
受取利息	30,834	20,891
受取配当金	22,967	28,743
有価物回収益	13,790	16,443
その他	12,966	20,840
営業外収益合計	80,557	86,918
営業外費用		
支払利息	7,157	4,966
為替差損	190,810	40,236
その他	18,519	5,109
営業外費用合計	216,486	50,311
経常利益	1,242,097	1,867,444
特別利益		
固定資産売却益	72	2,674
特別利益合計	72	2,674
特別損失		
固定資産除売却損	1,460	449
特別損失合計	1,460	449
税金等調整前四半期純利益	1,240,710	1,869,668
法人税、住民税及び事業税	238,192	244,824
法人税等調整額	△74,238	311,444
法人税等合計	163,954	556,268
四半期純利益	1,076,755	1,313,399
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,064,209	1,301,983
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,546	11,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,093	9,617
為替換算調整勘定	△1,534,172	20,266
退職給付に係る調整額	1,471	1,010
その他の包括利益合計	△1,567,793	30,894
四半期包括利益	△491,038	1,344,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△484,302	1,322,601
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,735	21,692



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	表面処理用 資材事業	表面処理用 機械事業	めっき加工 事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,439,167	1,579,588	1,277,954	173,082	10,469,793	4,701	10,474,494	—	10,474,494
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	40,017	117,690	392	—	158,100	—	158,100	△158,100	—
計	7,479,185	1,697,279	1,278,346	173,082	10,627,893	4,701	10,632,594	△158,100	10,474,494
セグメント利益又は 損失(△)	1,276,378	△199	45,064	91,523	1,412,766	3,667	1,416,433	△38,406	1,378,026

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロイヤルティ収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	表面処理用 資材事業	表面処理用 機械事業	めっき加工 事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	8,543,279	1,498,523	1,171,871	183,622	11,397,298	2,387	11,399,686	—	11,399,686
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	32,649	13,391	360	—	46,401	—	46,401	△46,401	—
計	8,575,929	1,511,915	1,172,232	183,622	11,443,699	2,387	11,446,087	△46,401	11,399,686
セグメント利益又は 損失(△)	1,705,458	75,952	△54,922	102,372	1,828,860	1,977	1,830,837	—	1,830,837

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロイヤルティ収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。